

KT説明書

- ① 輪行袋をハンドルに取り付ける時
添付写真①のようにハンドルにかけます。
下のベルトは付属のベルトの長いものを使います。
- ② 輪行袋をハンドルに横に付ける場合
添付写真②のように、こちらも一本付属の長いベルトを使用してください。
- ③ 輪行袋への収納の仕方

〔付属品〕

添付写真③の輪行袋の付属品を確認ください。
写真右下の丸めてあるベルトは輪行袋本体に使用する、締め上げ用のベルトです。上の5枚あるパッドはハンドル部に巻いたり、フレームに巻く保護用のパッドです。後は長いベルトと短いベルトがあります。

〔輪行袋の機能〕

添付写真④に輪行袋内部の機能の説明を入れています。
ご確認ください。

〔収納の仕方〕

- 1、ペダル、前輪、ハンドル部、シート部をはずし輪行袋の上に乗せます。
(添付写真⑤)
- 2、前輪を輪行袋の内側の車輪収納中袋に入れます。
(今回は簡単な方法として説明させていただきます。フレームに直接縛ったほうが収まりが良いのですが、中袋に車輪を入れた方が簡単です。)
このときに、前輪のクイックリリースをはずし、無くさないように内部の子袋に入れます。
- 3、ハンドルを写真⑥のようにフレームと固定します。このときにハンドルとフレームの当たる所に、キズが付かないように保護パッドを巻いてください。固定するには付属の長いベルトを使用します。
その他輪行袋を運んでいるときに動きそうなところは、ベルトで固定します。シートポストとサドル部をクランクとベルトで固定する。
- 4、固定できたら輪行袋を閉めて、締め上げベルトで中の自転車がずれないように縛ります。(添付写真⑦)
- 5、輪行袋の担ぐときに、添付写真⑧の矢印のベルトを通して、その長さによって、担ぐ時の高さの調整ができます。

付属のベルトは、この輪行袋が他の車種とも共用になっているのと、ユーザーの好みに応じて使い分けできるように余分に入っています。

